

浴衣姿で打ち水

「山形の豊かな水で暑さを吹き飛ばそう」と、山形市七日町の大沼本店前で25日、打ち水をアピールするイベントが行われた。

まちコンやまがた実行委員会が、1933年7月25日に日本最高の40・8度を記録したことにちなんで、この日の開催を企画した。



浴衣姿で打ち水をする女性ら

実行委員ら約30人が、用意した水を桶に汲み、40・

8度を記録した午後3時、歩道に向けて一斉に水をまいた。用意した温度計はそれまで35度を示していたが、打ち水をした後は33度が下がり、参加者から歓声が上がった。

涼
2014

7/26 読者新聞
山形版

浴衣姿で参加した市内の会社員阿部綾子さん(30)は「実際に温度が下がったのを見て効果を実感した。日常生活でも打ち水を取り入れたい」と話していた。